



Information

■古市古墳群の位置



■交 通



編集・発行 古市古墳群世界遺産連絡会議

羽曳野市 世界文化遺産推進室

〒583-8585 羽曳野市菅田4-1-1 TEL 072-958-1111 <https://www.city.habikino.lg.jp/>

藤井寺市 世界遺産登録推進室

〒583-8583 藤井寺市岡1-1-1 TEL 072-939-1111 <https://www.city.fujidera.lg.jp/>

古市古墳群とは

大阪府の東南部、藤井寺市から羽曳野市にかけて東西4km、南北4kmの範囲に分布する古墳群です。4世紀後半、それまで奈良盆地で築造されていた大王墓は河内平野に造営されるようになります。巨大な前方後円墳の応神天皇陵古墳から一辺10mにも満たない小型の方墳まですくなくとも130基の古墳が6世紀中頃まで連綿と造られます。また、さまざまな埋葬方法が採用され、副葬品では多量の鉄製の武器や武具、農工具に加えて金銀を使用したきらびやかな馬具や装飾品が含まれるようになるのが特徴です。中国の歴史書『宋書』に「倭の五王」が中国に使節を送った記述が見られますが、古市古墳群には倭の五王のうちの幾人かの陵墓が築造されていると考えられています。古市古墳群は、堺市の百舌古墳群とともに当時の大王とその一族、それに仕えた人々の墓所であると考えられます。

墳形	古墳名	大きさ	墳形	古墳名	大きさ
前方後円墳	応神天皇陵(菅田御廟山)	425	方墳	鍋塚【史跡】	63
	仲姫命陵(仲津山)	290		東山【史跡】	57
	仲哀天皇陵(岡ミサンザイ)	245		雄略天皇陵(鳥泉平塚)	50
	允恭天皇陵(市野山)	230		中山塚【仲姫陵陪塚】	50
	墓山【応神陵陪塚・史跡】	225		八島塚【仲姫陵陪塚】	50
	津堂城山(蔭陵参・史跡)	210		西馬塚【応神陵陪塚】	45
	白鳥塚(前の山)	200		栗塚【応神陵陪塚】	43
	野中宮山	154		野中【史跡】	37
	古室山【史跡】	150		助太山【史跡】	36
	仁賢天皇陵(ボケ山)	122		割塚【史跡】	30
	安閑天皇陵(高屋山)	122		東馬塚【応神陵陪塚】	30
	清寧天皇陵(白髪山)	115		隼人塚【雄略陵陪塚】	20
	ニツ塚【応神陵陪塚】	110		野々上【仁賢陵陪塚】	20
	大鳥塚【史跡】	110		松川塚【史跡】	25
	はざみ山【史跡】	103		赤面山【史跡】	22
前方後円墳	峯ヶ塚【史跡】	96	円墳	雄略天皇陵(鳥泉丸山)	75
	春日山田皇女陵(高屋八幡山)	85		青山【史跡】	62
	鉢塚【史跡】	60		菅田丸山【応神陵陪塚】	50
	唐櫃山【史跡】	59		宮の南塚【允恭陵陪塚】	40
	稲荷塚【史跡】	50		番所山【史跡】	22
	小白髪山【清寧陵陪塚】	46		衣塚【允恭陵陪塚】	20
	向墓山【応神陵陪塚】	68		サンド山【応神陵陪塚】	不明
	浄元寺山【史跡】	67			

(赤字は世界遺産の構成資産) (※陪参:陵墓参考地)

津堂城山古墳

Tsudo-shiroyama Kofun



古市古墳群で初期に築造された、最北に位置する墳丘長210mの前方後円墳です。くびれ部両側に造出しが設けられ、周囲には二重の濠と堤をめぐらせています。室町時代、城を築くため墳丘の一部が大きく削られています。1912年に後円部頂でみつかった竪穴式石室内から、巨大な長持形石棺と鏡、武器・武具などの副葬品が出土し、4世紀後半の築造と考えられています。発掘調査で、周濠内に一辺17mの方形の鳥状通輪が確認され、南側の浅い凹みに3体の水鳥形通輪が据えられていました。造形美豊かな水鳥形通輪は2006年、重要文化財に指定されています。

応神天皇陵古墳とその周辺

羽曳野市菅田6丁目



古市古墳群最大の前方後円墳です。墳丘長425mと堺市の仁徳天皇陵古墳に次ぐ長さで、築造に必要な土量は日本一を誇ります。くびれ部両側に造出しがあり、周囲には二重の濠と堤がめぐりますが、東側には先に造られていたニツ塚古墳があり、内濠の幅が狭くなっています。円筒通輪や水鳥などの形象通輪の他に、蓋形木製品やクジラ、タコなどの土製品が見つかっており、5世紀前半に築造されたと考えられます。周囲には5基の小古墳が規則的に配置され、陪塚と考えられます。このうち菅田丸山古墳は応神天皇陵古墳の前方部の正面に築かれ、1848年に出土した金銅製龍文透彫鞍金具などの馬具は大陸伝来の国際性豊かな優品で、国宝として菅田八幡宮に所蔵されています。



允恭天皇陵古墳とその周辺

Ingyo-tenno-ryo Kofun



古市古墳群の北東部に築造された墳丘長230mの前方後円墳です。くびれ部の両側に造出しがあり、二重の濠と堤をめぐらせています。周辺の発掘調査で円筒通輪や家・盾・穀・蓋形などの器財形通輪、馬・犬形などの動物通輪、人物通輪などが出土しています。墳形や通輪の特徴から5世紀後半に築造されたと考えられます。周囲には允恭天皇陵古墳の陪塚と考えられる中・小規模の古墳が多く点在しています。後円部西側外堤に接している径40mの円墳の長持山古墳からは、阿蘇の凝灰岩を用いた剣拔式の家形石棺が2基発見されました。

仲哀天皇陵古墳

Chuai-tenno-ryo Kofun



古市古墳群の西部に築造された墳丘長245mの前方後円墳で、古市古墳群で3番目の大きさです。くびれ部東側に造出しがあり、周囲には幅の広い濠と堤をめぐらせています。1996年の発掘調査で、墳丘は中世に城郭として利用され、古墳本来の姿を大きく失っていることがわかりました。堤の上では円筒通輪が確認され、他に盾などの形象通輪も出土しています。通輪の特徴から5世紀末に築造されたと考えられます。濠にはたくさん水鳥が飛来し、絶好のバードウォッチングスポットになっています。後円部北側には墳丘長60mの前方後円墳である鉢塚古墳があり、陪塚と考えられます。

清寧天皇陵古墳と小白髪山古墳

Seinei-tenno-ryo Kofun Koshiragayama Kofun



古市古墳群の西南端に築造された墳丘長115mの前方後円墳です。くびれ部北側に造出しがあります。周囲には濠と堤をめぐらせており、発掘調査で二重目の濠も確認されました。出土した通輪や古墳の形態などから6世紀前半頃に築造されたと考えられます。東側には墳丘長46mの小型の前方後円墳、小白髪山古墳があります。周囲に濠がめぐることが発掘調査で確認されています。両古墳の通輪が類似することや、墳丘の主軸線が一致することから、同じ時期に築造された主墳と陪塚の関係にあると考えられます。

仲姫命陵古墳とその周辺

Nakatsuhime-no-mikoto-ryo Kofun



応神天皇陵古墳の北側に築造された墳丘長290mの前方後円墳で、くびれ部両側に造出しがあります。古市古墳群では応神天皇陵古墳に次ぐ大きさです。周囲の狭く深い盾形の濠と幅広の堤はこの古墳の特徴です。発掘調査で堤の外側斜面にも墓石を施していること、堤の上に円筒通輪列があることがわかりました。通輪の特徴から4世紀末頃の築造であると考えられます。後円部北東にある一辺63mの方墳、鍋塚古墳は同時期に造られ陪塚と考えられます。また、南側にある、ニツ塚古墳(助太山・中山塚・八島塚)の濠からは1978年に修繕が出土し、2006年に重要文化財に指定されています。

野中宮山古墳とはざみ山古墳

Nonakamiyayama Kofun Hazamiyama Kofun



古市古墳群の中央に2基の前方後円墳があります。南側の野中宮山古墳は前方部を西に向け、墳丘長は154mです。前方部上面は削平されています。後円部頂に板状の石が散乱していたことから、竪穴式石室内に内部施設にしていると考えられます。南側に長大な造出しがあり、壺、馬、水鳥などの形象通輪が出土しています。通輪の特徴から4世紀末頃の築造と考えられます。

春は桜の名所として親しまれています。北側のはざみ山古墳は前方部を東に向けており、墳丘長103mで、くびれ部両側に造出しがあります。発掘調査で、幅の広い堤と円筒通輪が確認されており、その特徴から応神天皇陵古墳とは同時期の5世紀中頃に築造されたと考えられています。

白鳥陵古墳

Hakucho-ryo Kofun



古市古墳群の南部に築造された墳丘長200mの前方後円墳で、くびれ部北側に造出しがあります。前方部の幅が後円部の直径を上回り、墳丘の高さも前方部が3m高いという特徴があります。濠と堤をめぐらせ、発掘調査で出土した通輪の特徴などから、古墳は5世紀後半頃に築造されたと考えられます。『日本書紀』などには「日本武尊が伊勢の能褒野で亡くなり、白鳥となって大和の琴弾原を経由して市に飛来し、鳩生野を天に向かって羽を曳くように飛び去った」という白鳥伝説があり、羽曳野の名の由来となっています。

雄略天皇陵古墳

Yuryaku-tenno-ryo Kofun



古市古墳群の西北部に位置します。江戸時代の絵図によると、丸山古墳だけが古墳として認識されていたようです。1885年、丸山古墳(円墳)と平塚古墳(方墳)を合わせて、今の前方後円墳のような形に整えられ、宮内庁によって「雄略天皇(比高髯原塚)」とされています。丸山古墳は径約75mで、周囲には濠がめぐり、円墳としては全国でも屈指の大きさを誇りますが、濠の北側は後世に大きく拡張されています。

仁賢天皇陵古墳

Ninken-tenno-ryo Kofun



古市古墳群の西南部に築造された墳丘長122mの前方後円墳で、くびれ部南側に造出しがあります。周囲には濠と堤をめぐらせています。通輪の特徴から6世紀前半に築造されたと考えられます。なお、堤の北西部にはこの古墳に使う通輪を焼いた「野々上通輪窯跡群」があります。北西側の野々上古墳は一辺20mの方墳で、出土した通輪から仁賢天皇陵古墳より100年以上古い4世紀後半に築造されたと考えられます。

墓山古墳とその周辺

Hakayama Kofun



古市古墳群のほぼ中央に築造された墳丘長225mの前方後円墳です。くびれ部の両側に造出しがあり、周囲には濠と堤をめぐらせています。後円部には長持形石棺が納められています。

わずかに知られている副葬品や通輪などの特徴から、5世紀前半に築造されたと推定されます。

墓山古墳の外堤の周囲には、陪塚と考えられる古墳4基が配置されています。北側の野中宮山古墳や西側の西墓山古墳では、鉄製の武器や農工具が多量に納められており、墓山古墳の被葬者は当時貴重な鉄を多量に所有する実力者であったと考えられます。

古室山古墳と大鳥塚古墳・赤面山古墳

Komuroyama Kofun Otorizuka Kofun Sekimenyama Kofun



応神天皇陵古墳と仲姫命陵古墳の間に2基の前方後円墳があります。北側の古室山古墳は墳丘長150mで、出土した通輪から4世紀後半の築造と考えられています。墳丘に登ると東には石川をへだてて前期古墳が連なる玉手山古墳群を望むことができ、春には梅と桜の名所として楽しまれています。南側の大鳥塚古墳は墳丘長110mで、周囲には幅の狭い濠を巡らせています。通輪の特徴から5世紀前半に築造されたと考えられています。

古室山古墳と大鳥塚古墳の間には、一辺22mの方墳である赤面山古墳があります。現在、西名阪自動車道の高架下に残るその姿は、開発と文化財の保全の姿を物語っています。



峯ヶ塚古墳

Minegazuka Kofun



古市古墳群の西南部に築造された墳丘長96mの前方後円墳で、くびれ部北側に造出しがあります。周囲には濠と堤をめぐらせ、南側以外は二重目の濠があります。後円部では石室が確認され、多くの副葬品が発見されました。銀や鹿角による装飾がある。大力をはじめ、武器や武具・馬具、金銅製の冠帽や帯金具、ガラス玉や石製玉類など3700点以上が出土しています。副葬品や通輪の特徴から古墳は5世紀末頃に築造されたと考えられます。

周囲は峰塚公園として市民の憩いの場になっています。

安閑天皇陵古墳と春日山田皇女陵古墳

Ankan-tenno-ryo Kofun Kasuga-no-yamada-no-kojo-ryo Kofun



古市古墳群の最南端に築造された墳丘長122mの前方後円墳です。前方部幅が後円部径を上回り、北側には造出しがあったようです。墳丘は中世の高屋城の築造により、本来の姿が大きく崩れています。出土した通輪や須恵器の特徴から、6世紀前半頃に築造されたと考えられます。なお、東京国立博物館に所蔵されている古代ベルシャ製と推定されるガラス碗は、この古墳から出土したといわれています。

南に位置する春日山田皇女陵古墳は、現状では一辺40mの方形ですが、発掘調査によって、前方部を北に向けた墳丘長90mの前方後円墳であることが判明しました。出土した通輪から6世紀前半に築造されたと考えられます。



(東京国立博物館)

■展示施設一覧

名 称	所在地／問合せ先	休館日等
羽曳野市立 歴史の森総合センター 歴史資料室	〒583-0881 羽曳野市鳥泉8-8-1 072-952-2751	年末・年始、館内整理日 開館時間 9時～17時30分 入館料無料
羽曳野市 文化財展示室	〒583-0856 羽曳野市白鳥3-147 072-958-1111 (4480)	土、日曜日、祝日、年末・年始 開館時間 10時～16時 入館料無料
菅田八幡宮 拝観庫	〒583-0857 羽曳野市菅田3-2-8 072-956-0635	開館日時 土曜日 13時～16時 拝観料 400円
峰塚公園管理棟 時とみどりの交流館	〒583-0854 羽曳野市経里2-85-1 072-942-6647	木曜日、年末・年始 開館時間 9時45分～17時15分 入館料無料
津堂城山古墳 ガイダンス棟 まぼろしやま	〒583-0033 藤井寺市小山6-5-6 072-952-1419 (文化財保護課)	年末・年始 開館時間 9時～17時 入館料無料
藤井寺市立 生涯学習センター (アイセルシュラホール)	〒583-0024 藤井寺市藤井寺3-1-20 072-952-7800	月曜日、年末・年始 開館時間 9時30分～17時15分 入館料無料
藤井寺市立図書館	〒583-0007 藤井寺市小川1-2-2 072-938-2197	月曜日、年末・年始、館内整理日 開館時間 9時45分～17時15分 入館料無料
道明寺天満宮 宝物館	〒583-0012 藤井寺市道明寺1-16-40 072-953-2525	見学要予約 拝観料 300円